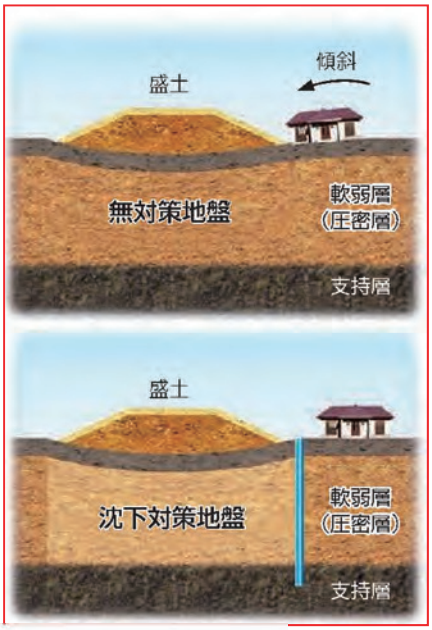
沈下対策鋼矢板工法

軟弱地盤上の盛土施工による圧密沈下に対し、近接構造物の引込み沈下を防止する工法です。

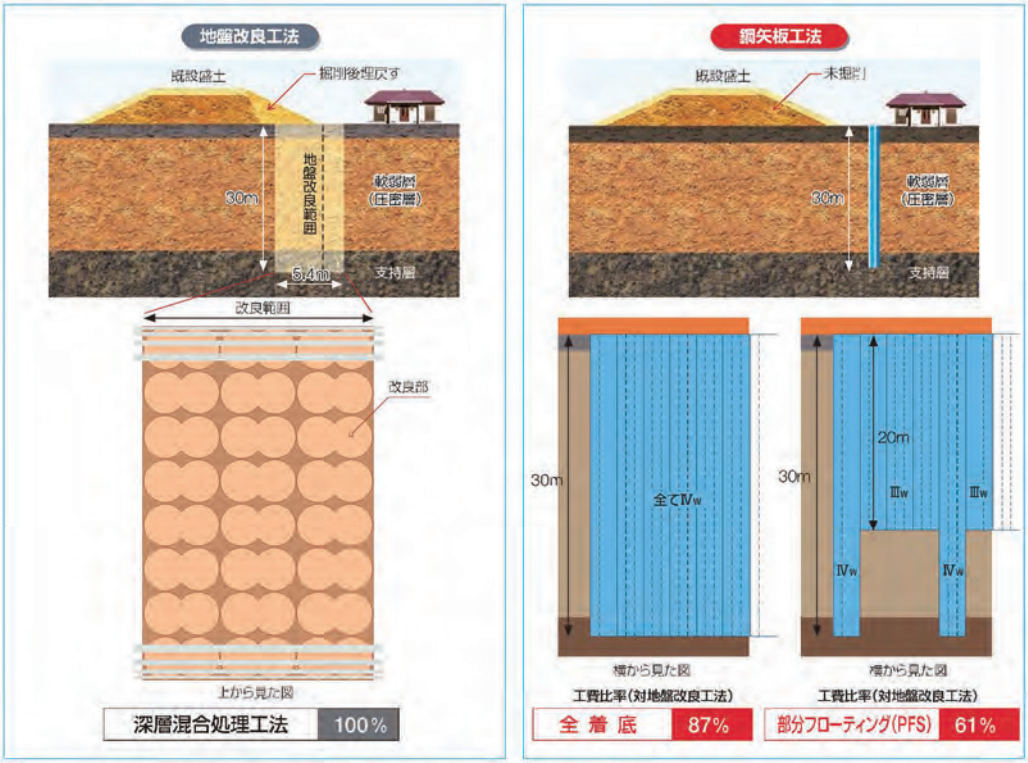
【特長】

地盤改良工法と比較して

- **少ない作業範囲**での施工が可能であり、**狭隘地**でも対策が可能
- 既設の盛土を**未掘削**で施工が可能であり、**出水期**でも施工が可能
- **低コスト**での対策が可能
- **短期間**での施工が可能



コスト比較例



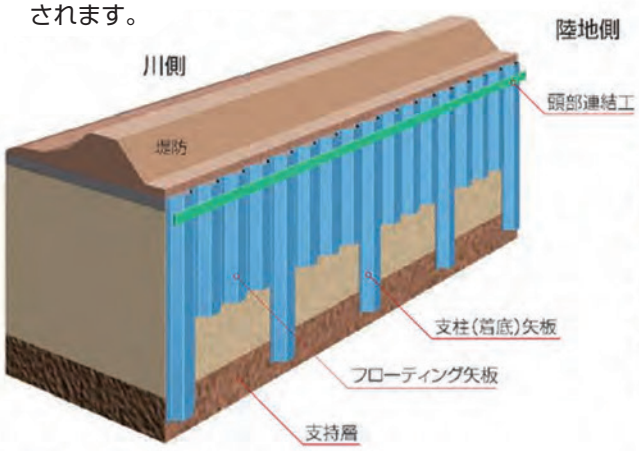
鋼矢板工法を用いることによって工費削減が期待されます。 ※ただし地盤等の条件によって結果は異なります。

NIPPON STEEL
日本製鉄株式会社
〒100-8071 東京都千代田区丸の内2-6-1
TEL：03-6867-4111(代)

バリエーション

(1) 部分フローティング工法（PFS工法）

沈下制御に必要な数だけ鋼矢板を着底させ、後の鋼矢板は応力遮断に必要な長さのフローティング（支持層まで根入れさせない）とする工法です。
経済性、施工性が向上し、**工期短縮**も期待されます。

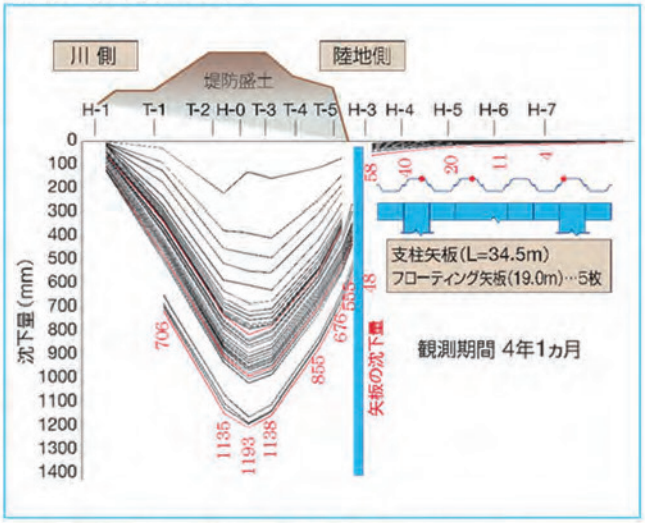


(2) 透水性鋼矢板

地下水流への影響より、透水性を必要とする地盤への対応も可能です。

実施工における対策効果の計測事例

熊本県／緑川(美登里地区)



4年以上経過後も、堤内地側の表層沈下量は小さく、顕著な対策効果を発揮しています。

参考文献：PI-S工法—部分フローティング鋼矢板工法—技術資料　平成1/年3月　PI-S工法研究会　P.44

施工実績

熊本県／白川・緑川（九州地方整備局）
型式：　SP－Ⅲ型、SP－Ⅲw型
長さ：　19.5～39.0m

広島県／太田川（中国地方整備局）
型式：　SP－Ⅳ型
長さ：　28.5m

他多数

<ご注意とお願い>　本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

NIPPON STEEL
日本製鉄株式会社
〒100-8071 東京都千代田区丸の内2-6-1
TEL：03-6867-4111(代)

日本製鉄グループの『国土強靱化』ソリューション
商品・工法リーフレット
K204_04_202109
©2021 NIPPON STEEL CORPORATION
無断複写転載禁止